

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 5年 2月 28日

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名: COPAINあさひ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		子どもの特性に合わせて、机の大きさやパーテーション・個室を使い分けています。	
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4		入り口には段差がなく、スロープとなっており、また目の前に駐車場がございます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		支援の終わりに職員で振り返りをし、次の目標について話し合っています。	全員で共有して、振り返りなどを行っています。はっきりとPDCAで表してはいるので、今後取り入れるか検討中です。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		運営規定に実地していない旨を今後記載していきます。また自己評価をもとに業務改善に繋げていきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		月1での社内研修や個々で社外研修に積極的に参加しております。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		初回は標準化されたアセスメントツールを利用して、2回目以降は個々に合わせて変えています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		会議をして立案し、目標を共通理解しております。個別支援であるため日々の活動内容は担当の支援員が決めております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		子どもや保護者のニーズに合わせて日々工夫しながら活動内容を考えております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1		支援内容の大きな変更はございませんが、長期休みは個別支援を行いつつ、イベントを取り入れて子ども達に楽しんでもらえるようにしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	個別活動のみを行っています。	個別活動を基本としておりますが他の職員、支援員との関わりや長期休みに集団活動を取り入れております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		支援終了後に振り返りを毎回行い、気づいた点などは記録に残しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		成長療育システムHGUIにて毎日の記録をとり、振り返りや次の支援内容の検証や改善に繋がっています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		日々の子どもの様子や保護者様のニーズをもとに定期的な計画の見直しを行っております。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4				

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	3		送迎がないため学校との情報共有は難しいですが、学校での様子はその都度保護者様にお聞きしたり、ご要望や、保護者様の同意を得て学校に直接様子伺いの対応などもさせて頂きます。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4			保護者様との連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4			保護者様からの情報で、情報共有と相互理解に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4			移行された方はまだおりません。今後必要であれば個々に対応します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		社外研修として定期的に助言を頂いております。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4			個別サービスのため行う予定はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	個々で参加しております。		機会があれば積極的に参加したいです。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		LINE、電話、送迎の際などに積極的に取り組んでいます。また成長療育システムHGUでも記録をし、状況をお伝えしております。			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		保護者様からのご相談があれば個々に対応させて頂いております。	少しずつ相談にのったり、活動時の工夫などをお伝えしています。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4			保護者様からのご要望があれば今後検討したいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		苦情受付報告書をもとに今後対応していきます。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		会報はありませんが、LINEにて情報を伝えています。		
	35	個人情報に十分注意している	4		wチェックを行っています。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		児童、保護者共に見通しがもてるように連絡しています。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4			現段階ではそのような活動予定はございません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		年1回の避難訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		年2回社内にて虐待防止研修を行うと共に、個々でも社外の虐待研修に参加しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		虐待防止委員会を株式会社COPAIN内で設置しており、虐待防止マニュアル内にやむを得ず身体拘束を行う際の内容について記載しております。万が一身体拘束が適用される場合については、保護者様にその旨をしっかりと説明し、重要事項説明書内に記載している通り個別支援計画にも記載致します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		4		保護者様からの申請により事前に確認しております。医師の指示書が必要な子の利用があれば個別に対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			